

1. ジュニアJPIN登録について

11月1日にKTAでジュニアJPINの会議がありKTAジュニア大会運営委員会の中澤正彦さんと出席し、関東地域の対応がほぼ決定した。各都県が窓口となり受付管理を行っていくことに決定した。

JTAジュニアランキング制度開始(2018年4月より開始)に伴い、まずは全国に繋がるジュニア大会から、各地域・都府県予選大会に参加するには、「JTAジュニア登録」(JPIN)が必須となります。選手の皆様には現在持っている関東テニス協会の登録番号とは別に、新たにJTAジュニア登録番号(JPIN)の取得手続きを必要に応じて頂くこととなります。各都県テニス協会の指示に従い手続きをお願いします。

栃木県では1月に募集が始まっている【第37回栃木県ジュニア選手権大会】からジュニアJPIN登録を開始しています。栃木県テニス協会HPのジュニア、中学生大会情報の欄を参照願います。

1/21(日) JTAジュニアJPINのトーナメントプランナー使用方法について実務担当者講習会が渋谷区スポーツセンターであり事務局の藤本さんとロイヤルの青柳良延さんが出席した。

2. 平成29年第5回常務理事会 KTA報告

日時:2017年11月30日(水)14:00~16:30
会場:渋谷区スポーツセンター会議室 神山出席

- ・国体委員会報告
- ・平成30年度全日本都市対抗テニス大会関東予選大会は栃木県テニス協会が運営主管・

期日 平成30年5月5日【土】、予備日6日【日】

会場 栃木県総合運動公園10面 コートは確保

関東枠は6枠

ストレートイン4枠:東京都、神奈川県、茨城県、千葉県

関東予選県:埼玉県、栃木県、山梨県、群馬県、

4県中2枠

- ・平成30年国体関東ブロック大会

期日 平成30年8月4日(土)・5日(日)・予備日6日(月)

会場 神栖海浜庭球場

平成30年度関東枠はJTAドント配分から

①成年男子は1枠減って4枠、②成年女子は8枠で女子は関東ブロックは開催しない。

3. 平成29年第6回常務理事会 KTA報告

日時:2018年1月24日(水)14:00~16:30
会場:渋谷区スポーツセンター会議室 神山出席

- 1、関東オープンテニス選手権大会について
- 2、平成30年度行事予定と予算について

平成29年度-63万円の予算が290万円の黒の予定

平成30年度はマイナス150万円の予算の予定

- 3、各委員会報告

国体委員会 都市対抗関東予選会要綱配布 5/5で栃木県総合グラウンドで開催

4. 2017 ダンロップスリクソントーナメント関東決勝大会

期日 平成29年12月2日(土).3日(日)

会場 昭和の森テニスセンター

上記で開催され役員及び応援で出席。

栃木県は団体戦5位。男子A級で行徳陽介、福田涼平ペアが3位に入賞した。

以上

TTAレポート(No. 115)

(No. 5)

1、栃木県中学校体育連盟(中体連)の準加盟の承認を得る

平成30年5月1日に開催された、栃木県中体連委員会・専門部会(総会)において硬式テニスが準加盟の承認を受審されました。過去平成23年度、26年度に2回加盟の要望を行いましたその都度理事会にお諮り頂きましたが加盟の許可を得られませんでした。今回、中央競技団体より平成30年度までに中体連に加盟が認められなければ全国大会の出場を認めないとの告示がされ平成29年5月に再度の要望書を提出書しこの度準加盟の承認にいたりました。3年間の準加盟の経過後に正式加盟等の検討がされます。

2、2017年度栃木県テニス協会の総会を開催

2018年4月22日(日) ホテルニューイタヤで第3回理事会の後に総会が開催され2017年度の事業報告及び決算報告が行われ承認された。また2018年度事業計画予算についても承認を頂きました。ありがとうございました。2017年度マイナス予算でスタートしたが各委員会の努力の結果わずかであるがプラスで終了できたことを感謝します。しかし2018年度は、栃木国体に向けた強化対策のための出費増加が予想され予算を厳しくみている。総務経理で競技力向上事業補助金で-60万円、競技運営で昨年比-41万収益減、実業団昨年-22.5万円(全国大会参加料)等があり総額で-161.7万円のマイナス予算でのスタートとなり期終了時の繰越金が202万円まで減少すると考えられ、**2019年(平成31年)度からTTA登録料を現在の600円から1000円に値上げを提案させて頂き本総会で承認を頂きました。**これにより現在の登録者約3000名でプラス120万円になりマイナスが補えると考えます。ご協力をよろしく願います。

下記表を参照願います

	【2018年度予算方針】			
	予算(e)	決算(f)	予算案(g)	増減 (h)=(g)-(e)
前年度繰越金	3,964,615	3,964,615	3,642,500	322,115
当該年度残金計	690,085	77,885	1,617,830	927,745
繰越金合計	3,274,530	4,042,500	2,024,670	1,249,860
繰越金/総収入比率	11.0%	14.0%	7.2%	
ジュニア育成強化基金	基金残高	2018年度積立額	基金合計額 (利息含む)	
	1,200,015	400,000	1,600,067	
基金積立後繰越金		3,642,500		

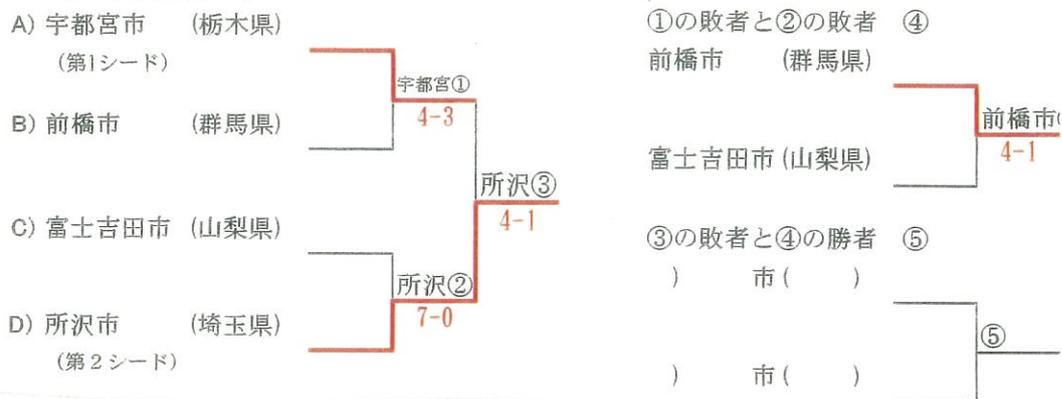
また、総会後の懇談会に横松副会長が来られて**県総合グラウンド11～16番コートに常設照明が設置される**と話がありました。常設スタンドも規模は分かりませんができるとのことです。コートの屋根は残念ながらダメです。**屋根コートのクラブハウスもできる**との事です。要望がほぼ通った感があります。

3、平成30年度全日本都市対抗テニス大会関東予選会大会結果

期日 平成30年5月5日【土】、予備日6日【日】
会場 栃木県総合運動公園10面 コートは確保
関東枠は6枠
ストリートイン4枠：東京都、神奈川県、茨城県、千葉県
関東予選県：埼玉県、栃木県、山梨県、群馬県、
4県中2枠

第一代表は所沢市(埼玉県)、第二代表は宇都宮市(栃木県)に決定。

< 対戦表 >



4、第7回ブラインドテニスダブルス大会IN宇都宮開催

日時：2018年 3月3日(土)、4日(日)
場所：宇都宮市明保野体育館
EUクラス(アイマスク有)12ペア、NEクラス(アイマスク無)6ペアが参加され2日間にわたりリーグ戦その後決勝トーナメントが実施されTTAから2日間にわたりのベ9名の審判員を派遣した

5、平成30年度JTA TENNIS PLAY&STAY特別補助金交付額削減について

補助金は平成26～28年度額の半額となる連絡がありました
平成26年～28年は上限20万円(平成29年度は特別増額年度で30万円でした)
平成30年度は10万円が上限額となります。

以上

TTALレポート(No. 116) (NO.6)

1、第73回国民体育大会栃木県予選会が6月2日(土)、3日(日)屋板運動公園栃木県総合公園で開催された。

結 果	成年男子	成年女子
	1位 玉腰敬大	1位 吉田麻美
	2位 木本和寿	2位 関谷里佳子
	3位 河内良容	3位 塩澤美幸
	4位 福田諒平	4位 河上初美

男子上位2名の選手は、8月4日(土)～5日(日)茨城県神栖市で行われる関東ブロック大会に出場。

女子上位2名の選手は、9月30日(日)～10月3日(水)福井県福井市で行われる本國体に出場。

2、第42回全日本都市対抗テニス大会結果

期日 平成30年7月26日【木】～29日【日】

会場 茨城県神栖海浜庭球場

大会は各市町村単位でチームを編成し、地域予選を勝ち抜いた32チームによるトーナメント戦により行われ、勝ち進むためには「一般女子ダブルス・一般男子ダブルス・ベテラン1部(45歳以上)ダブルス・ベテラン1部女子ダブルス・ベテラン2部(55歳以上)ダブルス・一般女子シングルス・一般男子シングルス」の7ポイントのうち4ポイント以上の勝利が必要です。1回戦で敗退したチームにもコンソレーション(敗者戦)トーナメントが行われます。栃木県からは宇都宮市が代表として出場しました。

出場選手：吉田麻美、関谷里佳子、玉腰敬太、柚木武、佐藤政大、黒田貴臣、吉田幸子、福田澄子 阿久津定之、渡邊隆典

初日の1回戦は大津市と対戦し宇都宮市4-1で勝ちました。2日目は台風12号が接近するなか1セットマッチに縮小し実施され2回戦は和歌山市と対戦し4-1で勝利いたしました。引き継ぎ3回戦は昨年優勝した京都市と対戦し1-4での敗戦となりましたが、**ベスト8で5位入賞の結果となりました**。これで来年度鹿児島市で開催される43回大会は全国ストレートイン枠にはいる予定です。(毎年5月に県総合Gで実施している関東予選会の出場は必要がありません)

大会結果

優勝：つくば市、準優勝：東京都豊島区、第3位：神戸市、京都市、

第5位：宇都宮市、千葉市、金沢市、横浜市

コンソレーション優勝：所沢市

3、第92回関東オープンテニス選手権大会 ベテランの部

関東圏内の5会場で35才S/D～85才S/Dで約1400人が参加する大会で栃木県は6年ぶりに大会の開催となった

天候にも恵まれ事故もなく無事に予定通り終了した。審判員、運営の方々へ感謝いたします。

来年度も同時期に開催予定があります。ご協力をよろしくお願いいたします

1. 開催期間 平成30年5月14日～20日

2. 会場 栃木県総合運動公園

3. コートサーフェイス・面数・照明

砂入り人口芝・16面・照明無

4. 試合種目 男子75才以上(S/D) 60人/23組

女子65才以上(S/D) 46人/22組

女子75才以上(S/D) 28人/23組

5. 大会役員 ディレクター 神山康洋

レフェリー 鈴木紀雄

アシスタントレフェリー 榎山和子、名倉安代

審判員 運営員 延べ6日間で80名

4、栃木県総合運動公園テニスコート改修工事について

公園事務所より下記連絡がありました。

来年度のコート調整について早めの対応をお願いいたします

1、工事予定期間：平成31年9月2日～平成32年3月31日

2、共用開始予定日：平成32年4月1日

3、工事内容：コート張替え工事等【16面】

4、工事期間中は、コートの使用はできません。

以上

----次回は11/1の予定----

TTALレポート(No. 117) (No. 7)

1、第73回国民体育大会関東ブロック大会8月3日(金)～5日(日)茨城県神栖海浜庭球場で開催された。

参加監督・選手・トレーナー・役員

総監督:: 阿久津定之

成年男子 監督:阿久津定之 トレーナー:吉村健司 役員:吉井副理事長, 渡邊強化副委員長

選手: 玉腰敬大(上武大学4年生)

木本和寿(東洋学園大学3年生)

試合結果 成年男子

ブロック1回戦 栃木県 0-② 千葉県

ブロック敗者戦 栃木県 ②-1 茨城県

代表決定戦 栃木県 0-② 神奈川県

本国体出場は果たせなかった。【出場都県は、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県】

来年度男子は関東ブロック予選は5/7都県とになりました。茨城県は開催県で出場。

女子は、ストレートインで本国体出場可になります。

2、第73回国民体育大会福井しあわせ元気国体が9月30日(日)～10月3日(水)に開催された。

会場 福井県福井市わかばテニスコート・福井県営テニス場

参加監督・選手・トレーナー

総監督:: 阿久津定之

1. 成年女子 監督:渡辺千鶴 選手:吉田麻美、関谷里佳子

2. 少年男子 監督:手塚英樹 選手:飯田翔、松尾凜哉

3. 少年女子 監督:中澤正彦 選手:佐藤成美、増淵つかさ

試合結果 成年女子

1回戦 栃木県 ②-1 神奈川県

2回戦 栃木県 0-② 千葉県

少年男子

1回戦 栃木県 ②-1 山形県

2回戦 栃木県 ②-1 岡山県

3回戦 栃木県 1-② 愛知県

少年女子

2回戦 栃木県 0-② 宮城県

都道府県別総合成績は天皇杯28位(昨年21位)皇后杯26位(昨年39位)の結果となり、目標の15位以内にはとどかない、テニスは参加得点で男女各10点ずつの加点しかなかった。競技得点は8位から加点される。

各種目8位以内を目指したい。競技得点は次のようになっています

1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点

3、2018年度 栃木県テニス協会 第1回理事会 開催

日時:2018年10月14日(日)18:00～20:00

会場:宇都宮市横川地区市民センター 学習室1

・各委員会の事業は予定通り進んでいるが、

予算がマイナス160万円でスタートしているので各委員会ともマイナスを少しでも抑えて下さい。

・2019年度登録料が600円→1,000円にあがる旨を、地区協会理事様は各クラブへの周知を早めにお願いたします。

・メール会員登録料3,000円の値上げはしないのか?⇒3,500円に値上げすることで承認した。

4、第13回(2018年度)とちぎオープンジュニアテニス大会開催

日時:2018年8月25日～9月2日

会場:総合G、屋板コート、民間4社コート

参加人数は男子417人 女子243人 合計660人で昨年より34名減少

今年18歳以下男子で飯田翔(足利大学付属高校)が見事優勝しました。その他の種目においても12名がベスト16入り、6名がベスト8、7名がベスト4まで勝ち上がり優秀な成績を残し今後に期待ができます。ジュニアの育成にたずさわっていただいた各コーチ及び本大会の運営の各役員に感謝いたします。今後ともよろしくお願いたします。

5、第8回ブラインドテニスダブルス大会開催日程が決定

日時:2019年 3月2日(土)、3日(日)

場所:宇都宮市明保野体育館

昨年同様に審判委員会の方々の協力をよろしくお願いたします。

以上

----次回は2/1の予定----

TTAレポート(No. 118) (No. 8)

1、2018ダンロップスリクソントーナメント関東決勝大会で団体戦で栃木県チームが優勝を果たす。

期日:平成30年12月1日(土)~12月2日(日)

会場:昭和の森テニスセンター

参加選手 男子A級: 行徳陽介、福田諒平
 男子B級: 迫田宗達、加藤秀昭
 女子: 吉田麻美、塩澤美幸
 ベテラン男子: 佐藤政大、黒田貴臣

試合結果 男子A級: 行徳陽介、福田諒平 予選リーグ1勝2敗 5位~6位決定戦で勝ち 5位
 男子B級: 迫田宗達、加藤秀昭 予選リーグ2勝1敗 3位~4位決定戦で負け 4位
 女子: 吉田麻美、塩澤美幸 予選リーグ3勝0敗 優勝決定戦で勝ち 優勝
 ベテラン男子: 佐藤政大、黒田貴臣 予選リーグ3勝0敗 優勝決定戦で勝ち 優勝

本大会は毎年6月7月に県予選を行い各ブロックの優勝組が関東決勝大会の参加切符を得れる大会
 今回で第36回目になり2000年第18回目、2012第30回目に続き3回目の団体優勝です。
 おめでとうございます。

2、平成30(2018)年度教育委員会各種大会優勝者等表彰(決定)について

TTAより下記3名の推薦をしたところ、3名共に表彰対象と決定しましたのでご報告します。

No.	受賞者・団体	大会名	種目	成績
1	本田 尚也	2018 DONLOP SRIXON CUP 全国選抜ジュニアテニス選手権大会 兼ワールドジュニアテニス世界大会代表 選考会	12歳以下 男子シングルス	優勝
2	佐藤 政大	第80回日本商業開発(株) 全日本ベテランテニス選手権'18	男子45歳以上 ダブルス	優勝
3	黒田 貴臣	第80回日本商業開発(株) 全日本ベテランテニス選手権'18	男子45歳以上 ダブルス	優勝

表彰式は2月12日栃木県公館大会議室で行われます

3、平成30年第6回常務理事会 KTA報告

日時:2019年1月23日(水)14:00~16:30

会場:渋谷区スポーツセンター会議室

・ジュニアJPIN登録について埼玉県テニス協会が『在住 在学のみ』として31年1月の登録を進めているが、JTAの指導等により『在住 在学のみ』の登録を凍結し従来どおり在クラブも含むことに当面なると報告があった

・平成31年度の全国都市対抗テニス大会関東予選会は昨年の実績で7枠となり昨年優勝の茨城県つくば市を含め8都県の出場枠が得られ関東予選会は実施しないことが報告された。
 第43回全日本都市対抗テニス大会は、平成31年7月19日(金)~7月21日(日)に鹿児島市で開催予定です。

・平成31年度国体関東ブロック大会は成年男子は開催県の茨城県を除き5枠を7都県で争う。
 成年女子は昨年同様好成績で開催県の茨城県を除き7枠となり関東ブロック大会は開催しないことが報告された。関東ブロック大会は、平成31年8月3日(土)4日(日)予備日5日(月)で千葉市フクダ電子ヒルスコートで開催予定です。

4、第81回(2019年)全日本ベテラン選手権大会が栃木県総合グラウンドで開催予定

今年も下記日程で開催予定です。実施種目は未定ですが11面(No.6~10を除く)での実施です。

昨年同様に審判員、運営方のご協力をよろしくお願いたします。

日時:2019年5月13日(月)~5月20日(月)

会場:栃木県総合グラウンドテニスコート

以上

----次回は5/1の予定----